

支援プログラム

事業所名

ハピコム相模大野

作成日

2025 年

3 月

10 日

法人理念	専門職としてお子様一人ひとりのニーズに応じた支援を行い、各ご家庭が安心できる環境づくりのお手伝い。		
支援方針	国家資格保持者（言語聴覚士、作業療法士、保育士等）が担当につき、一人一人にあった個別療育を実施いたします。近隣施設との連携も合わせて実施しています。		
開所日	2021年9月	サービス提供時間	9:30～16:00
定員	10名/日	送迎実施地域	送迎なし
職員体制	児童発達支援管理責任者：1名 言語聴覚士：5名 作業療法士：1名 保育士：2名 事務員：1名 ※兼務あり	職員の質向上 (会議・研修等)	事業所内研修の実施や、外部研修（例：吃音、PECS、ADOS、The CAT-kit、S-S法など）学会（例：日本吃音流暢性障害学会、日本コミュニケーション障害学会、日本聴覚医学会など）への参加
支 援 内 容			
健康・生活	検温や聞き取りによる体調確認、感染予防のため、手洗いや手指消毒の実施。 ・状態に合わせた適切な行動の選択を促す（異常が見られた際には、PGM内容の調整や自宅静養を勧める）。 ・支援の内容を通して子どもとの関わり方について保護者が参考にできるような情報共有を行う。		
運動・感覚	運動面、感覚面の適切な評価、支援の提供。 ・作業療法士による評価(運動面・感覚面や視知覚の検査など)の実施 ・感覚刺激への反応傾向の評価及び支援 ・姿勢、バランス、協調運動など粗大運動の評価及び支援 ・手先の操作（握る、つまむ、鉛筆やはさみなどの道具の操作）についての評価及び支援		

本人支援	認知・行動	<p>周囲の情報を適切に捉え、日常生活が円滑に送れるよう支援を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タイムタイマーやスケジュールを用い、見通しを立てながら行動する力を育む ・注意力や集中力（見る力や聞く力）を養って、必要な情報を捉える力を育む。 ・必要に応じた検査(WISC-V、新版K式発達検査など)を通し、客観的な評価を行う。
	言語 コミュニケーション	<p>①コミュニケーションへの支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・語彙や文法など、言語コミュニケーションの拡大を促す。 ・必要に応じて非言語的な手段(絵カード、ジャスチャー、PECSなど)の獲得を促す。 <p>②発話(構音・吃音など)への支援</p> <p>③読み書きへの支援</p>
	人間関係 社会性	<p>ソーシャルスキルトレーニングを実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ルールのある活動に参加する ・感情をコントロールして活動に参加する。 ・相手の枠組みに合わせて行動する力を身に着ける。 ・援助要求の方法を学ぶなど社会的に必要な行動の知識を得る。
家族支援		<p>支援中の様子を行動観察し、その内容について常に相談できる環境を提供する 必要に応じて別途、個別の相談支援の時間を設ける</p>
地域支援・地域連携		<p>相談支援事業所やその他の福祉事業所との相談・連携 移行先への情報提供・書類作成などの相談援助</p>
移行支援		<p>就学に向けたサポートブック作成への協力 検査報告書、経過報告書の作成、説明 保育所や通所施設の担当者との電話での相談 医療機関への情報提供 他事業所訪問による情報交換</p>
主な行事		<p>行事</p>
		<p>季節に合わせた製作や絵本の音読</p>